

一般質問通告書

佐野市議会議長 様

平成30年8月30日

受理者印

午前

10時15分受理

午後



議会名	平成 30 年 第 3 回 佐野市議会定例会		
発言者	議席番号 17 番	氏名	岡村恵子
答弁を求める者 (選択してください)	市長 ・ 副市長 ・ 教育長 ・ 担当部局長		
質問方法 (いずれかを選択してください)	一問一答 ・ 一括質問一括答弁		
大項目(質問項目) 中項目(質問細目)	小項目 (具体的な質問内容)		
1 「自衛隊の山地機動訓練」を受け入れたことについて	<p>① 8月2日、3日に行われた、「自衛隊の山地機動訓練」を受け入れるにあたり、この訓練の趣旨と目的は何と捉えているか。</p> <p>② 民有地での自衛隊の訓練は県内初であるが、市民にとってやった意義は何と捉えているのか。</p> <p>③ 小銃を持って行ったのは事実なのか。</p> <p>④ 「災害発生に備え」と広報にも野上地区への回覧板にも記載があったが、実際はどうだったのか。</p> <p>⑤ 「災害発生に備え」との記載が資料にないとしたら市民に訂正するべきではないか。</p>		
2 介護保険と高齢者福祉について (1) 生活援助サービスに回数制限について	<p>① この10月から、要介護者の生活援助サービスに回数制限が設けられたが、このことを市はどう受け止めているのか。</p> <p>② 「要介護1」で27回、「要介護2」で34回、「要介護3」で43回、「要介護4」で38回、「要介護5」で31回と利用上限を設定しているが、この数字はどのように算出されたのか。</p> <p>③ 本市では、ケアマネージャーに利用状況を調査しようだが、上限を超える利用者等の実態はどうか。</p> <p>④ 10月からは、訪問回数が一定数を超えるケアプランを、ケアマネージャーが市に届け出ることが義務づけられ、そのケアプランを「地域ケア会議」にかけるとしている。この「地域ケア会議」はどのようなメンバーで構成されどのような役割を果たすのか。</p>		

	<p>⑤「地域ケア会議」にかけられるケアプランは「自立支援」や「地域資源の有効活用」等の観点から、必要に応じて是正を促すとしているが、この「自立支援」と「地域資源の有効活用」とはなにか。</p> <p>⑥この上限設定は計画を立てるケアマネージャーの立場からは、この範囲内での計画に追い込まれる可能性をはらんでいると考えるがどうか。</p> <p>⑦今後も必要な人が、十分に生活援助サービスを受けられる体制ができていくのか。</p>
<p>(2) 高齢者タクシー券について</p>	<p>①高齢者のタクシー券の使用用途が、通院のみとなっているが、介護予防の観点から、買い物等にも利用できるように用途を広げるべきであり、充実させていくことが必要と考えるがどうか。</p>
<p>3、小中一貫校と小中一貫教育について</p>	
<p>(1) 赤見地区の施設一体型小中一貫校計画について</p>	<p>①佐野市小中学校の適正規模・適正配置基本計画では前期と後期に分けられ、平成35年度からの後期計画では施設一体型小中一貫校として赤見地区小中学校が対象となっている。実施に当たり配慮すべき点、必要な見直し等も述べているが、今後どのようなやり方で進めようとするのか。</p> <p>②市有施設適正配置計画の中では、学校教育系施設について触れているが、「現時点での利用に対する安全性は確保されている」と述べている。では田沼西地区、葛生地区に続き赤見地区の施設一体型一貫校を進める意義は何か。</p>
<p>(2) 旧佐野市内の施設分離型小中一貫教育について</p>	<p>①旧佐野市内についても、施設分離型小中一貫教育を進めるとしているがその意義は何か。</p>